

定員
先着**120**名

参加費
無料

「将来の課題のための日・オーストリア委員会」第25回会合 公開シンポジウム

JAPAN X AUSTRIA

PUBLIC SYMPOSIUM

テーマ

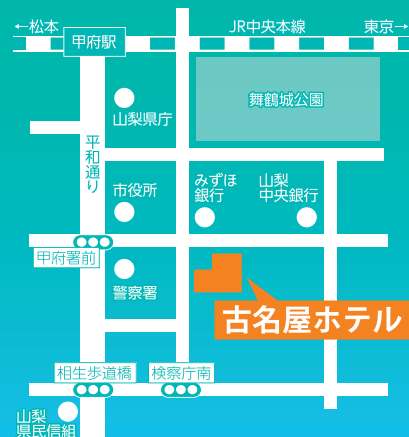
日本とオーストリアにおける 脱炭素社会に向けた取組 —水素・林業—

日時

2023.11/21 火 14:45 開始
17:30 終了予定

会場

古名屋ホテル (甲府市中央 1-7-15)



「将来の課題のための日・オーストリア委員会」は、両国間の交流・相互理解の促進を目的として、両国の委員がさまざまな分野を議論する唯一の官民フォーラムです。

毎年、日本とオーストリア交互に開催しており、25回目の本年は甲府市で開催することになりました。

今回の公開シンポジウムでは脱炭素社会をテーマに、林業・水素における両国の取組を紹介するとともに、脱炭素社会の将来に向けた意見交換を行います。

日本側委員長 佐藤義雄 住友生命保険特別顧問(前経団連ヨーロッパ地域委員長)
オーストリア側委員長 ウォルフガング・マツァール ウィーン大学法学部教授

〔主催〕外務省 〔共催〕山梨県
〔後援〕駐日オーストリア大使館、オーストリア連邦産業院、ADVANTAGE AUSTRIA

基調講演 14:50~15:00

GX実現に向けた水素・アンモニア政策の動向

資源エネルギー庁 省エネルギー・新エネルギー部 水素・アンモニア課 水素・燃料電池戦略室長

安達 知彦

国際弁護士としてロンドンや東京を拠点として主に資源エネルギー・インフラ分野のプロジェクトやファイナンス案件に携わる。2022年7月に資源エネルギー庁に着任。水素・燃料電池の導入や社会実装に向けた制度整備や国際交渉などを担当。



シンポジウム

JAPAN
SIDE

テーマ：—水素の利用— 15:00~15:45

AUSTRIA
SIDE

山梨大学クリーンエネルギー研究センター 教授
犬飼 潤治



東京大学大学院理学系研究科化学専攻。博士(理学)。現在、山梨大学クリーンエネルギー研究センター教授(水素・燃料電池ナノ材料研究センター兼任)。専門は、燃料電池、クリーンエネルギー、機器開発、表面科学、電気化学。2021年には「次世代燃料電池への応用を目指した革新的高分子薄膜の研究」により、文部科学大臣表彰を受賞。電気化学会、グランド再生可能エネルギー2022国際会議等さまざまな学術・専門団体の委員としても活躍。多数の研究論文を出版。

BMWオーストリア 水素燃料システム研究部長
ヨーゼフ・ホーネダー



拠点を率いるほか、電気駆動、ディーゼルエンジン、燃料電池等の開発部門を担当している。

オーストリア・リンツ高等専門学校、グラーツ工科大学を卒業し、BMWオーストリア国内拠点であるBMW Motoren GmbH(シュタイアー)の研究・開発拠点に入社。2011年には、イタリア支社にて研究・開発長を2年間務めた後、ドイツ・ミュンヘン支社にてドライブ仕様・コンセプト・統合等を担当する開発部門長を務めた。現在は再びオーストリア・シュタイアーにて開発

三菱重工業株式会社 水素製造プラントグループ長
田村 憲



1996年三菱重工業に入社し、石炭や副生ガスを利用した産業用発電プラントの設計を通して、製鉄会社や製紙会社の工場のエネルギーソリューションに携わる。2003年よりNEDOからの委託事業である石炭ガス化複合発電(IGCC)実証プラント(250MW)を設計・建設し、IGCC世界最長連続運転時間を達成した。2020年、データセンターのCO₂フリー化FSを担当。2021年より水素技術推進室において、高砂水素パーク開設に関わり、水素製造装置の開発・設計を進めている。

JAPAN
SIDE

テーマ：—水素供給— 16:00~16:30

AUSTRIA
SIDE

ENEOS株式会社 執行役員 水素事業推進部長
田中 秀明



1991年に東京大学工学系研究科化学工学を修了後、当時の東亜燃料工業に入社。東燃ゼネラル石油よりエクソンモービル米国本社へ outwarding、アジア太平洋アドバイザーとして、サプライチェーン最適化、グローバルロジスティクス最適化に取り組む。2017年にJXTGエネルギー/ENEOSとして統合後は、製造プロジェクト部長、大阪製油所長、工務部長を歴任。2023年4月より水素事業推進部長に着任し、ENEOSの既存アセットを活用した大規模な水素サプライチェーン構築に取り組む。



先進エネルギー・輸送システム研究所 理事会役員
ミヒャエル・ネースト

オーストリア・グラーツ工科大学にて機械工学(自動車工学)の博士号、機械工学と経営学の修士号を取得したほか、米国にてグローバルマネジメントMBAを取得。以後は自動車業界および研究開発コンサルティングの分野で20年以上の経験を有し、自動車業界のイノベーション・プロセスを支援する研究者・マネージャーとしてさまざまな職務を歴任。2009年からは、自身が設立したAESTA (Institute for Advanced Energy Systems & Transport Applications) 理事会役員を務める。

AUSTRIA
SIDE

テーマ：—林業— 16:45~17:15

JAPAN
SIDE

ウィーン大学 分子システム学部長
ヴォルフラム・ヴェックヴァート



ドイツ・ベルリン工科大学分子生物学・生化学研究所で生化学の博士号を取得。2000年以来、メタボロミクスの研究を行っており、マックス・プランク分子植物生理学研究等にて、同分野の研究プラットフォームを立ち上げた。2008年には正教授としてウィーン大学に移り、現在は同大学にて、自身が2015年に設立した、環境・バイオテクノロジー・生物医学を扱う研究プラットフォームであるウィーン・メタボロミクスセンターの所長や、機能・進化生態学部長を務める。



住友林業株式会社筑波研究所 参事・技師長
中嶋 一郎

住友林業入社後、戸建住宅の設計、商品開発に長年携わった後、商品開発部長、コーポレート・コミュニケーション室長、知的財産室長を経て、2016年に筑波研究所長に就任。2022年より筑波研究所技師長。人も木も、いずれ土に還る自然物であるため共感できる、という考え方に基いて研究開発に携わっている。現在、(公社)日本木材加工技術協会理事、(公社)日本木材保存協会理事、NPO法人才の木理事、(社)日本木材学会産学官連携推進委員。

お問い合わせ先

外務省欧州局中・東欧課

〒100-8919 東京都千代田区霞が関2-2-1

Tel 03-5501-8000 (内線3969)、Fax 03-5501-8297